

「旧軍港四市鎮守府日本遺産シンポジウム」開催のお知らせ

この度、平成28年に認定された日本遺産「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の魅力と活用、鎮守府遺産の調査と研究意義の発信を目的に、下記シンポジウムを開催しますのでお知らせします。

主催：旧軍港市日本遺産活用推進協議会

日時：令和3年3月13日（土） 14:00～16:45

場所：舞鶴赤れんがパーク 2号棟ホール（舞鶴市政記念館）＋オンライン配信

プログラム・申込方法：別紙のとおり

【お問い合わせ先】
文化振興課 担当：長嶺、松崎
☎0773-66-1019/FAX0773-62-9891
e-mail:bunka@city.maizuru.lg.jp



旧軍港四市シンボルマーク

広 報 資 料

令和3年(2021年)3月1日

報道関係者 各位

旧軍港市日本遺産活用推進協議会

会長 多々見 良三

旧軍港四市(横須賀・呉・佐世保・舞鶴)による
「旧軍港四市 鎮守府日本遺産シンポジウム」の開催について
(お知らせ)

平成28年4月に旧軍港四市の歴史に基づくストーリー「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が文化庁の日本遺産に認定されました。

この度、日本遺産の魅力と活用、鎮守府遺産の調査と研究意義の発信を目的にシンポジウムを開催しますのでお知らせいたします。

講師には東洋大学大学院国際観光学部客員教授で文化庁日本遺産認定審査会の委員でもある丁野朗氏を迎え、四市の旧軍遺産の研究者による各地の取り組みの紹介や、鎮守府遺産の学術研究と活用の良い関係について考えてもらうパネルトークを実施します。

記

- 1 日時 令和3年3月13日(土) 14:00～16:45
- 2 場所 舞鶴赤れんがパーク2号棟(舞鶴市政記念館)
(舞鶴市字北吸1039-2)
※オンラインによる参加も可能
- 3 会場定員 80名

(裏面へ続く)

4 内容

プログラム		時間	登壇者・内容
開会		14:00~14:05	挨拶 旧軍港市日本遺産活用推進協議会 会長（舞鶴市長） 多々見 良三
講演 1		14:05~14:25	文化庁日本遺産認定審査会 委員 丁野 朗 氏 「日本遺産の魅力と活かし方」
講演 2		14:25~14:40	舞鶴市郷土資料館 館長 吉岡 博之 氏 「四鎮守府遺産の魅力について」
休憩			
発表 1	舞鶴	14:50~15:05	舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授 毛利 聡 氏 「舞鶴高専における取り組み」
発表 2	佐世保	15:05~15:20	佐世保工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 前田 貴信 氏 佐世保工業高等専門学校 基幹教育科歴史科 教授 堀江 潔 氏 「『防空壕小学校』無窮洞 ～洞窟調査ロボットの実証実験～」
発表 3	呉	15:20~15:35	呉工業高等専門学校機械工学科 准教授 上寺 哲也 氏 広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科 講師 光井 周平 氏 「海自呉基地ならびに周辺地域に残る旧呉鎮守府の遺産について」
発表 4	横須賀	15:35~15:50	防衛大学校 防衛学教育学群 准教授 由良 富士雄 氏 「横須賀ー日本の砲台の試験場並びに展示場(ショーウィンドー)ー」
パネルトーク		15:50~16:40	各登壇者 「調査と活用の良い関係」
閉会		16:40~16:45	挨拶 舞鶴市副市長 堤 茂

5 申込方法

- ・会場参加の場合) 電話、メールによる事前申込
舞鶴市市民文化環境部文化振興課
TEL 0773-66-1019
Mail bunka@city.maizuru.lg.jp
- ・オンライン参加の場合) 下記申込フォームから申込
<https://www.kokuchpro.com/event/kyugun/>

【問い合わせ先】

舞鶴市市民文化環境部文化振興課

(担当 長嶺・松崎)

電話：0773-66-1019 Fax0773-66-9891



旧軍港四市


鎮守府日本遺産シンポジウム

旧軍港四市(横須賀・呉・佐世保・舞鶴)の旧軍遺産を研究する研究者による各地の取組み紹介によって、四市の日本遺産の意義や魅力に迫ります。

日時：3/13(土) 14:00～16:45

◆場所/舞鶴市政記念館+オンライン ◆参加費/無料

◆申込方法

申込方法	場所	申込方法	申込先
会場	舞鶴赤れんがパーク2号棟 (舞鶴市政記念館) 舞鶴市字北吸1039-2	電話かメールで事前申込 (定員80名)	舞鶴市文化振興課 TEL0773-66-1019 Mail : bunka@city.maizuru.lg.jp
オンライン (ライブ配信)	オンライン	申込フォームから申込→ (https://www.kokuchpro.com/event/kyugun/)	

◆その他

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令された場合は会場での参加を中止し、オンラインのみで開催します(HP等でお知らせします)。会場へはマスク着用の上ご来場ください。発熱等体調がすぐれない場合は来場をご遠慮ください。

プログラム	時間	登壇者・内容
開会	14:00~14:05	挨拶 旧軍港市日本遺産活用推進協議会 会長(舞鶴市長) 多々見 良三
講演1	14:05~14:25	文化庁日本遺産認定審査会 委員 丁野 朗 氏 「日本遺産の魅力と活かし方」
講演2	14:25~14:40	舞鶴市郷土資料館 館長 吉岡 博之 氏「四鎮守府遺産の魅力について」
休憩		
発表1	舞鶴	14:50~15:05 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 准教授 毛利 聡 氏 「舞鶴高専における取り組み」
発表2	佐世保	15:05~15:20 佐世保工業高等専門学校 電子制御工学科 教授 前田 貴信 氏 基幹教育科歴史科 教授 堀江 潔 氏 「『防空壕小学校』無窮洞 ～洞窟調査ロボットの実証実験～」
発表3	呉	15:20~15:35 呉工業高等専門学校機械工学科 准教授 上寺 哲也 氏 広島工業大学 環境学部 建築デザイン学科 講師 光井 周平 氏 「海自呉基地ならびに周辺地域に残る旧呉鎮守府の遺産について」
発表4	横須賀	15:35~15:50 防衛大学校 防衛学教育学群 准教授 由良 富士雄 氏 「横須賀ー日本の砲台の試験場並びに展示場(ショーウィンドー)ー」
パネルトーク	15:50~16:40	各登壇者「調査と活用の良い関係」
閉会	16:40~16:45	挨拶 舞鶴市副市長 堤 茂